



工夫は楽しい

京都に暑い夏がやってきました。

この夏も私たちの節電が求められています。

先日ふと、節電とは電気を大切に扱うこと
だなあと考えた時、この京都には

「しまつする」

という言葉があることに気が付きました。

昔、私は祖母から

「しまつは、後始末をすること」と

聞かされました。

「しまつ」は京都の文化でした。

しまつはものをすみずみまで全て使い切る

ことを求めます。

この考えはもったいないという思いにも

通じているように思います。

ものを大切にすることの気持ち

様々な工夫を生みだします。

日々の生活では、一つの食材から何通りの

おそつぎが作れるかと考えたり。

私たちの建築の仕事では、

一つ一つの材料をすみずみまで丁寧に

使い切ることにつながります。

役に立たないと思っていたものに

もういっぺん生命を吹き込み

役立つものとして活用していく。

さあ一緒にこの後始末を

のぞいてみましょう。

工夫の中からは

楽しさが現れると思いますよ。

平成二十五年

(株)石田工務店

代表取締役 石田泰久

—もう一度生命を吹き込む— これからの住まいに取り入れたい「しまつの心」

case1 雨水も資源。無駄にしません。

雨水集水器

住宅の雨どいに簡単に取り付けられる
雨水貯留タンク。
節水や非常時に助かります。



- ・花壇の草花や植木への散水、玄関まわりや道路への水まきなど日常生活で水が気軽に使用できます。
- ・局地的な集中豪雨による下水道管のあふれ防止につながり洪水を防ぎます。
- ・貯まった水は震災などの非常時に洗濯や手洗いなどの日常用水として使用できます。

case2 山の木をすみずみまで使いきる。

ペレットストーブ

山林の伐採で発生する木片、端材、
木くずなどからつくられる
「ペレット」を燃料とする暖房器具。



薪ストーブと違い燃料タンクに貯蔵されたペレットを
少量ずつ自動的に燃焼室に供給するので燃料補給の手
間が軽減される。着火は運転スイッチのボタンを押す
だけの簡単操作。火力調整も可能である。薪ストーブ
のような美しい炎と暖かさがより気軽に楽しみ、煙突
工事も要らず煙も出さないので市街地でも利用できる。

case3 食べた後の貝殻を再利用。

ホタテ貝殻塗料

廃棄されていたホタテの貝殻を
再利用した塗料。
調湿効果等に優れたにも
優しい天然素材。



- ・シックハウス症候群の原因とされるホルムアルデヒドやVOC(揮発性有機化合物)を吸着させる。
 - ・室内の水蒸気を吸収し、結露の発生をおさえる。
 - ・室内の湿度を一定に保つ。
 - ・消臭効果に優れている
- 今あるクロスをはがさずに塗るのでリフォームにも最適。

—小さくつくって大きく暮らそう— 程良い大きさの家は使い勝手の良い便利な住まいです <設計のポイント>

1
屋根裏空間をフル活用できる家づくりをする

屋根裏空間がこぢいライブラリーや寝室に活用
我が家にかくれ家が生まれます

2
みんなで使うLDK中心の間取りを考える

3
使わない可能性のある部屋はつらない

4
外の景色や空を取り込み、光や風を生かす住まいづくりを考える。

5
長持ちする住み継ぐ家をつくるには、家族の成長、構成の変化に対応した住まいづくりを考える

小さなエネルギーで愛される住まいをつくる。その家に長く住むことが省エネ生活です。

工夫の中から楽しさを見つけてみませんか —一つ一つの木材をすみずみまで使いきる

マザーハウスの 大工とつくり木工教室

残材の天然木でいろんなものをつくってみよう

住宅づくりで大工が木材を加工する際にできた端材は、形も大きさもバラバラですが、うまく組み合わせれば立派なリサイクルに！創造力を働かせて、木材を選び組立てていきます。毎年参加者の皆様はとて真剣で、感心する作品続出です。

日頃なかなか日曜大工などする機会の少ない皆様に、実際に大工が作業をしている工場を一日開放し、工場にある木材で楽しく思い思いの作品をつくってもらう夏休み恒例企画。当日は大工が道具の使い方もお教えます。毎年好評をいただき今年で10回目になります。



大工さんにインタビュー

マザーハウスの大工さん紹介
<棟梁：今林 孝>



Q. こどもの頃はどんなことをしていましたか？

近くの川でよく魚釣りをやったね。稲刈りの後は田んぼで野球もしたよ。

Q. 大工さんになったきっかけは何ですか？

47年前に学校に石田工務店の職業案内がきたのでここに勤めようと思った。兄も大工をやっていたので大工になろうと思っていた。今迄勤めてこられたのは兄弟子の親切な対応があったからだと思う。

Q. 大工さんの醍醐味は何ですか？

それは建物が完成してお施主様に喜んでもらうこと。

Q. 仕事をするにあたってここが一番大事と思うところは？

見えないところをしっかりとつくることだなあ。しっかり強くつくることで長く住んでもらうことができる。

Q. 具体的に仕事でどんな「しまつ」をしていますか？

そつなく材料を使いきること。たとえば棚板をつくる時は取り合いを見て材料を切る。しかしあらゆることの基本は掃除だと思ふ。現場をきれいにすることでいろんなことが見えてくる。

information

自然を大切にすることを育みます。

申込不要

京都府立植物園で学ぶ

申込不要です。直接集合場所へお越しください。

自然観察会
第10回 8/4(日) ハスの花など夏に咲く花たち
毎回 am10:00 ~ 11:30

集合場所：植物園北門前(午前10時集合)

会場：京都府立植物園

受講料：無料(入園料のみ各自負担)

第11回 10/6(日) 秋の実りに精をだす植物たち

第12回 12/1(日) 紅葉、落葉、種子散布の始まり

講師：谷口 節氏(自然観察ガイド・インタープリター/NPO法人シニア自然大学校 認定講師)

主催者で講師の谷口様はマザーハウス石田工務店のお施主様です

先着順
お申込はお早めに
ものづくりの喜びと楽しみを味わおう

申込制

マザーハウス 夏休み恒例企画

第10回 大工とつくり
木工教室 8/4(日)
am10:00 ~ pm3:00 頃

会場：マザーハウス石田工務店原谷工場
(京都市北区原谷)

参加費：大人 500円・子供 300円

*昼食は各自でご用意ください

*参加費は東日本大震災復興支援金として寄付いたします

お問合せお申込み先：マザーハウス石田工務店

TEL: ☎ 0120-296-481

FAX: 075-451-8040

Email: isco@wonder.ocn.ne.jp

氏名、人数、ご連絡先を明記ください。

後日参加票を送らせていただきます。

ホームページでもご案内しております

マザーハウス石田工務店 検索